

2020年1月理事会議事録

日 時：2020年1月25日（土）14：00～17：20

場 所：日本考古学協会事務所

出席：谷川章雄・近藤英夫・矢島國雄・植田 真・河村好光・佐々木和博・杉井 健・
関根達人・滝沢 誠・都築恵美子・中嶋郁夫・萩野谷 悟・堀内秀樹・松崎元樹
・馬淵和雄・宮里 修・高麗 正、監事：唐澤至朗・橋本裕行、（事務局：林
純子・出口まどか）

欠席：大島直行・小笠原永隆・小澤正人・菊池誠一・佐古和枝・佐々木憲一・谷畑美帆

進行：都築恵美子

議長：谷川章雄

都築理事から、本日の出席者は19名で過半数に達しており、本理事会が成立することが報告され、議事に入った。

会員の訃報について

都築理事から、京都府の小野忠熙会員が2019年4月6日、大分県の橘 昌信会員が5月27日、岡山県の中田啓司会員が11月7日、神奈川県根田信隆会員が11月12日、福島県の菅原文也会員が11月18日、神奈川県稲村 繁会員が11月29日、京都府の廣瀬常雄会員が11月26日、鳥取県の東森市良会員が12月7日、東京都の原 祐一会員が2020年1月1日、静岡県瀬川裕市郎会員が1月9日、茨城県の川崎志郎会員が1月19日、福岡県の渡邊正氣会員が1月21日に亡くなられたとの報告があり、哀悼の意を表した。

議案第553号 退会会員の承認について

植田理事から、福島県の*会員・*会員、埼玉県の*会員、東京都の*会員・*会員・*会員・*会員・*会員・*会員・*会員、長野県の*会員、静岡県の*会員、大阪府の*会員・*会員・*会員・*会員、兵庫県の*会員、岡山県の*会員から2019年度をもつての退会届が提出されている旨の報告があり、承認された。また、未納会費のある会員から提出された退会届けについては、未納額を納入してからの退会承認とすることとし、未納額の納入を求める。

議案第554号 2020年度新入賛助会員の承認について

中嶋理事から、2020年度新入賛助会員の申込みは、法人会員1件、フレンドシップ会員2名、学生会員1名の申込総数1団体・3名であり、2019年12月7日（土）に開催された入会資格審査委員会では申込者について特段の意見はでなかったとの報告があった。これを受けて、審議の結果、全申込者について入会資格を承認し、総会に諮ることとした。なお、法人会員については3月上旬に全正会員に名簿を送付する。

議案第555号 2020年度総会議案について

河村理事から、第86回（2020年度）総会議題案の審議事項並びに報告事項の提示があり、

一部修正の上、承認された。

議案第556号 2020年度予算作成に関わる各委員会等の予算要求書受領について

萩野谷理事から、各委員会から2020年度予算要求書が期限までに提出されたことが報告され、各事業及び委員会の予算要求合計額が提示された。2019年度予算より要求額が266万円ほど多く、また2020年度の収入見込み額に対し、各委員会から提出された予算要求額が上回っていることが報告された。各委員会担当理事に増額理由等について意見を求めたが特にでなかったため、今後、各事業の増額理由や2019年度の支出状況等を踏まえて検討・調整し、3月の理事会に予算案を提出するとの説明があり、承認された。

議案第557号 2020年度名誉会員の推薦について

近藤副会長から、1月25日（土）午前中に名誉会員選考委員会を開催し、在籍52年で委員（現在の理事）を歴任し、会長も務められたことのある西谷 正会員を、「名誉会員に関する規定・内規」に照らし、日本考古学協会に顕著な功績があったことから名誉会員に推薦するとの説明があり、審議の結果、原案通り承認され、総会に諮ることとなった。

議案第558号 アーカイブス小委員会の設置について

矢島副会長から、2019年9月理事会議案第547号で設置を承認されたアーカイブス小委員会について、設置要綱（案）が提示された。事業内容は現在事務所にあるリストの悉皆調査を行い、文書や電磁的資料について、文書管理規定及び保存期間の設定を行う予定である。また、そのために、アーカイブス対象文書・記録の選定とルール設定を行いたいとの説明があった。審議の結果、要綱（案）については修正案が改めて3月理事会に提示されることとなり、2020年度から小委員会を設置することが承認された。

議案第559号 研究環境検討委員会でのアイヌ問題を検討する「研究倫理部会（仮）」の設置について

堀内理事から、2019年9月理事会議案第545号を受け、研究環境検討委員会でアイヌラウンドテーブル（以下、アイヌRT）関係事項等の文化財問題対応の所管について検討した結果、来年度以降、委員会内に「研究倫理部会（仮）」を設けることが了承された。なお、設置にあたり、研究環境検討委員会規定の所掌や委員数の修正が必要であるとの説明があり、研究環境検討委員会でアイヌRTを扱うこと及び進め方について承認された。

議案第560号 協会刊行物に関わる発送方法の変更について

矢島副会長から、総会・大会時の刊行物について、現在着払いで送付しているが、受け取られずに事務局に返送されることも多く、その場合の送料は協会が負担し、また再度の発送作業を行っている。来年度から『日本考古学年報』をA4判にして厚さをスリム化することにより、印刷費の削減が考えられること、また、この機会に『会報』や総会・大会時の『研究発表要旨』も順次A4判として厚さを薄くすることにより刊行費を削減する方向性として、着払いを廃止したいとの提案があった。審議の結果、刊行物を順次A4判とし、着払いを廃止することで、原案通り承認された。

議案第561号 理事等の次年度引継の方法と手順について

谷川会長から、理事改選にあたり、各事業担当ごとに、任期中に実施した事項・次期担当への引継課題等を記した会務引継書の作成が求められ、様式が提示された。協議の結果、様式については、既に確立した引継書のある事業については代々の様式を使用することも可とし、期日までの提出が求められた。

議案第562号 個人情報に関わる規程整備及び取扱マニュアルの整備について

谷川会長から、これまで新たな会員名簿の作成について将来構想検討委員会を中心に検討を行ってきたが、それに先だって個人情報保護に関する規程を整備し、取扱いに関する手引きを作成する必要があることが説明され、規定の骨子案として目的や定義・管理・利用等について提示された。協議の結果、一部修正した上で、骨子について承認された。

報告第765号 金属遺物の分析資料の不正採取に関わるその後の報道等について

関根理事から、岩手県立博物館の学芸員が金属器を無断で切り取っていた問題について、2019年12月16日に岩手県教育委員会から経過報告が公表され、柳之御所遺跡出土の国重要文化財2点も採取されていたことが確認されたとの説明があり、今後の経過を注視していくことで了承された。

報告第766号 協会設立70周年記念事業報告について

矢島副会長から、協会設立70周年記念講演会を、①2019年10月20日（土）に網走市教育委員会と共催で「モヨロ貝塚と大陸文化」と題して実施し、約130名の参加を得た。②11月24日（日）にみどり市教育委員会と共催で「岩宿遺跡と日本の近代考古学」と題して実施し、約100名の参加を得たとの報告があり、了承された。

報告第767号 令和元年台風15・19号等に伴う災害告知改め版告知の実施及び会員等災害に関する会費免除申請の状況について

近藤副会長から、令和元年台風15・19・21号で被災した会員について会費免除の措置に関する告知を12月会報及びホームページに掲載したところ、会員からより広域の災害にも対応して欲しいとの要望があり、改めてホームページに修正版の告知を掲載した。その結果、令和元年の台風では4名から申請があり、さらに2018年6月の大阪北部地震での被災についても1名から申請があったとの報告があり、了承された。

報告第768号 2019年度賛助会員（フレンドシップ）対象の事業計画と今後の計画について

矢島副会長から、フレンドシップ会員を対象とした今年度の学習交流会として、東京大学考古学研究室の見学を2020年2月3日（月）に、また奈良大学図書館の見学を3月に実施する予定であるとの説明があり、了承された。

報告第769号 臨時総務会における検討事項の報告

近藤副会長から、2019年12月15日（日）に総務会を開催し、本理事会の議題である個人

情報に関わる規程の整備や協会刊行物の発送方法の変更について、また基金の運用等について協議したとの説明があり、了承された。

報告第770号 2020年理事選挙管理委員会報告

植田理事から、①2019年11月2日（土）に第1回理事選挙管理委員会を開催し、委員長に大工原 豊会員、副委員長に池田悦夫会員が選出され、今後の日程並びに選挙告示内容の確認を行った。②立候補及び候補者推薦のチラシ、並びに投票呼びかけの広報チラシを作成することとし、会員の積極的な参加を呼びかけるためにそれぞれデザイン案を検討した。③前回まで投票時の投函用封筒裏面にあった住所・氏名記入欄について、都道府県のみ記載欄とし、住所・氏名の記載は求めないこととしたとの報告があり、了承された。

報告第771号 2020年度新入会員入会資格審査報告

中嶋理事から、2019年12月7日（土）に第1回入会資格審査委員会を開催し、委員長に橋本真紀夫会員、副委員長に長谷川 渉会員が選出され、2020年度新入正会員の資格審査、及び賛助会員の予備審査を行った。①正会員については、審査の結果、申込総数51名のうち、資格基準を満たす者47名、保留2名、考古学の方法論に基づいていないため該当しない者2名と判断された。2020年1月18日（土）に、委員長と副委員長による第2回入会資格審査委員会を開催し、保留2名の再審査を行ったところ、2名とも資格基準を満たすと判断された。よって、2020年度新入会員資格基準該当者は49名となり、3月上旬に全正会員に名簿を送付する。②賛助会員については、議案第554号のとおりであるとの報告があり、了承された。

報告第772号 2020年度総会時の研究発表調整会議の報告

滝沢理事から、第86回（2020年度）総会における研究発表の申込についての調整会議を2019年12月28日（土）に実施し、①総会第2日目の研究発表は、口頭発表2会場22件、セッション4会場8件、ポスターセッション23件、高校生ポスターセッション15件となった。なお、他学会との共催セッションにおける共催依頼の手続きについて、整備が必要である。②高校生ポスターセッションについて、最優秀賞を設けず優秀賞3件とすることとし、表彰の評価担当者は会長及び副会長1名、企画担当理事1名で行うこととする。③今年度の第85回総会で設置した託児室については、会場校の事情により設置せず、また近隣にも一時保育の託児所が見つからなかったことから設けないとの説明があり、了承された。

報告第773号 2020年度金沢大会の実施計画と案内について

河村理事から、2020年度金沢大会について、3月会報に掲載する会告（案）が提示され、日程及び、例年より開催時期が早いことから、宿泊・エクスカーションの案内・申込を8月会報掲載前にホームページで先行して受付ける予定であるとの説明があり、了承された。

報告第774号 日本学術会義会員・連携会員の候補者の推薦について

谷川会長から、日本学術会議から会員・連携会員の候補者情報提供の依頼があり、協会員3名を推薦したとの報告があり、了承された。

報告第775号 高額年会費滞納者の取扱と対応について

萩野谷理事から、3万円の高額滞納者39名の報告があり、各理事が分担して督促に当たることとなった。

報告第776号 各委員会等における事業報告と今後の計画について（その4）

1 研究環境検討委員会報告

堀内理事から、2019年12月1日（日）及び2020年1月11日（日）に委員会を開催し、①第86回（2020年度）総会時に実施予定であるセッション・ポスターセッションについて内容を検討するとともに、セッションの運営について検討した。②アイヌRT等の文化財問題の対応の所掌について、谷川会長・近藤副会長・矢島副会長と意見交換を行い、委員会に付随する研究倫理部会（仮）を設置して扱う方向で進めることとなった。③委員の退任に伴う次期委員会体制について協議したとの報告があり、了承された。

2 陵墓報告：陵墓限定公開40周年記念シンポジウム報告・立会調査見学報告

滝沢理事から、①12月22日（日）に大阪歴史博物館講堂で、「陵墓限定公開」40周年記念シンポジウム「文化財としての『陵墓』と世界遺産」を開催し、214名の参加を得た。②立会調査見学が2020年1月9日（木）に能褒野古墳群（能墓野墓）で実施され、9学協会15名が参加し、当会からは杉井理事・滝沢理事が参加した。また、1月23日（木）に行燈山古墳（崇神天皇陵）で実施され、8学協会12名が参加し、当会からは滝沢理事が参加したことが報告され、了承された。

3 埋蔵文化財保護対策委員会報告

松崎理事から、2019年11月24日（日）及び12月21日（日）に幹事会を開催し、①長崎市長崎県庁跡地で実施されていた確認調査の現地訪問を2019年12月13日（金）に行い、史跡の保存の在り方について今後も注視していく。②北本市デーノタメ遺跡の保存要望書を提出することとし、案文の検討を行った。なお、2020年1月10日（金）に北本市と面談を行い、要望書を提出した。③三浦市文化財収蔵庫の老朽化について、三浦市と面談したことが報告され、整備改善の申入れを引き続き行っていくことを確認した。④2019年度岡山大会の10月27日（日）に情報交換会を開催し、意見交換を行った。⑤委員を対象にアンケート調査を実施することとなり、内容の検討を行ったとの報告があり、了承された。

4 災害対応委員会報告

近藤副会長から、台風19号により川崎市市民ミュージアムの地下収蔵施設が水没し収蔵品が被災したことを受け、文化遺産防災ネットワーク推進会議の参画団体に対して協力依頼があったとの説明があった。

5 国際交流委員会報告

宮里理事から、①2019年12月8日（日）に委員会を開催し、i) 10月3日（木）に谷川会長及び近藤・矢島両副会長と、西藤委員長が懇談した内容を受けて、活動内容を協議し

た。ii) 英文ホームページに掲載している遺跡紹介の中国語や韓国語等の多言語化について検討した。②2020年1月11日(土)に早稲田大学において、「アジアの祈り」をテーマに第13回アジア考古学四学会合同講演会を開催し、約160名の参加を得た。また、同講演会においてアンケートを実施したとの報告があり、了承された。

6 平成28年熊本地震対策特別委員会報告

杉井理事から、2019年12月21日(土)に①「平成28年熊本地震復興に係わる文化財・埋蔵文化財調査の成果報告会」を熊本県益城町のミナテラス(益城町交流情報センター)で開催し、約100名の参加を得た。②報告会開始前に委員会を開催し、i) 来年度の第86回(2020年度)総会において、災害対応委員会・埋蔵文化財保護対策委員会と合同で行うセッション等の事業計画、及び予算要求について協議した。ii) 2020年度で特別委員会の最終年となることから、最終報告書について内容と執筆分担について検討し、年度末までに刊行することが確認されたとの報告があり、了承された。

7 社会科・歴史教科書等検討委員会報告

佐々木和博理事から、2019年12月22日(日)に委員会を開催し、①2019年度岡山大会におけるポスターセッションについて、来場者との意見交換の報告などの総括を行った。②旧石器時代を扱う小学校社会科教科書が皆無になったことから、改めて旧石器時代の記述の実現について今後の計画を協議し、第86回(2020年度)総会で実施するセッションテーマとすることとした。③協会ホームページの「考古学と教育」コンテンツの充実について検討したとの報告があり、了承された。

報告第777号 事業等に関わる後援名義使用の了承について

高麗常務理事から、北本市教育委員会からシンポジウム「デーノタメ遺跡が拓く縄文の世界Ⅲ」について後援(名義)依頼があり、名義の使用を承認したとの報告があり、了承された。

以 上

